



発行 者
北海道へき地・複式教育研究連盟
www.hamanasu.com./doheki ren
委員 長 梅 木 登喜雄
編集責任者 寺 口 悟
印刷 所 有限会社 岡本印刷
旭川市6条西5丁目 tel 0166-22-0752
題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや・さいかく)氏

梅木登喜雄(日高)を委員長に再任

平成20年度 定期総会を開催

5月8日(木) 於 ホテル ライフォート札幌

実践研究への姿勢を誇りとし、
時代の流れをしっかりとつなぐ

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 梅 木 登喜雄



平成20年度の総会において委員長を仰せ付けられました。課題多い現状ではありますが、また、新たな気持ちで道へき・複連の組織の充実と発展に向け努力して参りたいと思います。

さて、今年度は学習指導要領の改訂に基づく、新たな時代を前に、次年度からの移行措置を踏まえた新教育課程を編成する準備の年になりそうです。教育改革や学校改革の一連の流れの中で、また、ある期間を見通した各学校の教育活動の構築が求められています。しかしながら、この改訂に伴う諸々の改善点に対応しながらも、現行の指導要領からの流れである「生きる力」の育成については変わることなく引き継がれているものと押さえ、従来の実践研究の検証に向かって努力したいものと考えます。

また、当連盟の第7次研究推進計画の最終年次を迎え、研究の検証とまとめを通しながら次年度から始まる第8次の研究推進計画に沿った新たな取り組みを始めたいと思います。

第8次研究推進計画は新学習指導要領を見越

しての研究計画になっていますので、平成20年度は第7次のまとめと新たな研究への橋渡しをする大きな意義をもつ年であると捉えます。

昨年度の第56回全道へき地複式教育研究大会空知大会が成功裏に終わり、今年度もその課題と成果を引き継いだ第57回全道へき研檜山大会が開催されます。時代の流れをつなぎ、絶えず実践研究に前向きな姿勢を誇りとして、確かな実践を力により研鑽に励み、研究の輪を一層広げたいと思います。

更には、年々評価の高い実践研究発表大会への参加や、昨年度から教育大学と連携している事業(特色GP)等にも関心をお寄せいただければと思います。

学校統廃合が全道各地で進む中、加盟校は少なくなっていますが、組織は熱く、会員の皆さんのへき地教育に対する情熱や思いが些かも損なわれていないことが何よりであります。全道各地区の仲間が連帯意識をもって日々の教育実践に鎬を削り、目の前の子どもたちの教育に新たな光を見出す年でありたいと思います。

今年度も道へき・複連へのご理解とご協力をお願いしてご挨拶と致します。